

行田市行財政集中改革プラン

2022 (素案)

— ニューノーマルを実現する新しい市役所へアップデート —

令和3年8月24日時点

目次 ~Contents~

序 章 行財政集中改革プランの策定の趣旨及び背景

- I 行財政集中改革プラン策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・
- II 行財政集中改革プランの位置づけと計画期間・・・・・・・・
- III 行財政集中改革プランの策定・管理体制・・・・・・・・
- IV 本市を取り巻く現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・
- 1 人口推移と人口比率の変化・・・・・・・・・・・・・・・・
- 2 厳しい財政状況・・・・・・・・・・・・・・・・
- 3 公共施設の老朽化・・・・・・・・・・・・・・・・
- 4 職員数の現状・・・・・・・・・・・・・・・・
- V 自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進・・・・・・・・

第1章 行財政集中改革ビジョン

- VI 「新しい市役所」の実現に向けた行財政集中改革ビジョン・・・・・・・・

第2章 行政財政集中改革アクションプラン

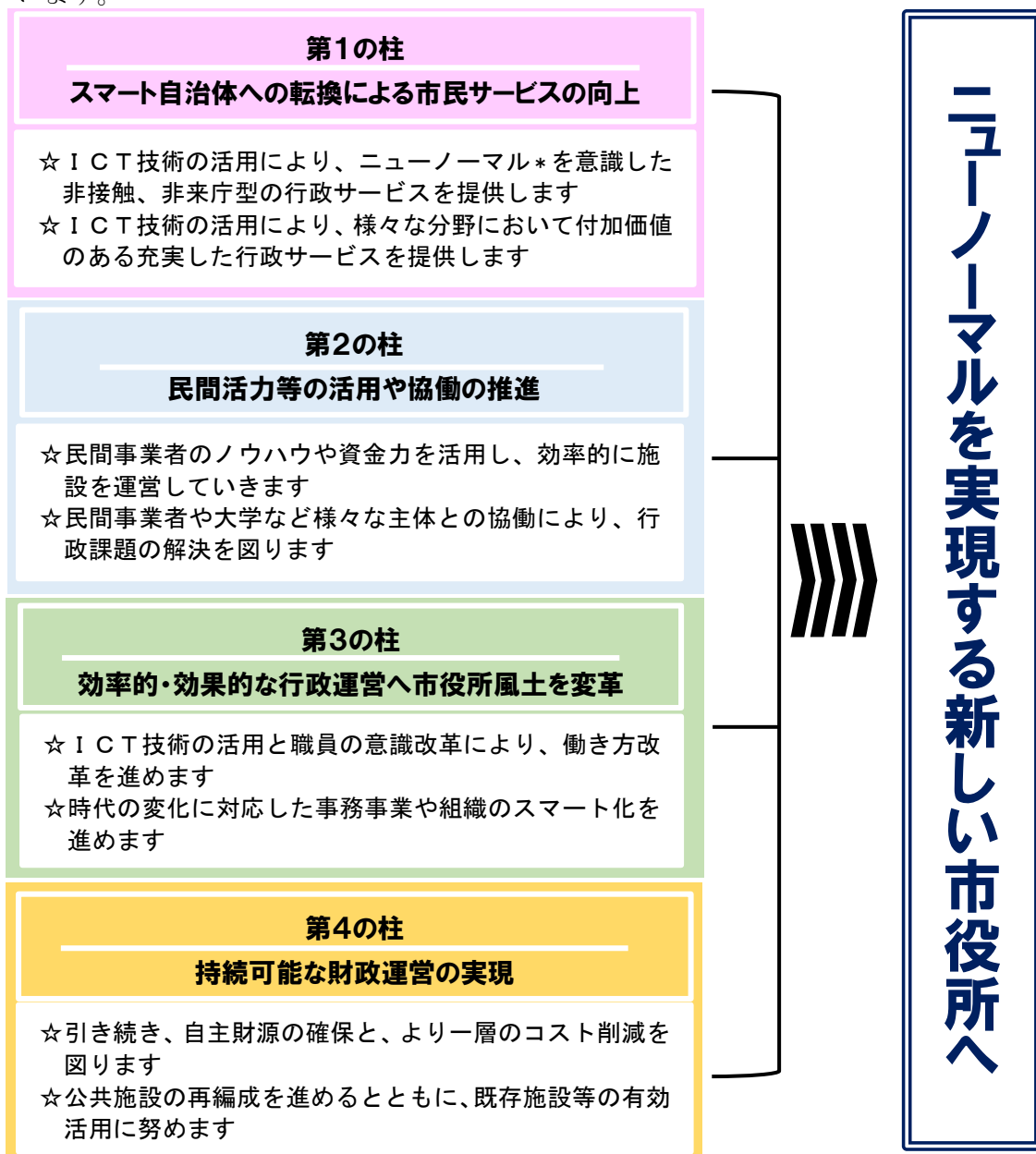
- VII 行財政集中改革アクションプランの改革項目・・・・・・・・
- 柱1の取組み・・・・・・・・・・・・・・・・
- 柱2の取組み・・・・・・・・・・・・・・・・
- 柱3の取組み・・・・・・・・・・・・・・・・
- 柱4の取組み・・・・・・・・・・・・・・・・

第3章 （仮称）行田市DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進計画

VI 「新しい市役所」の実現に向けた行財政集中改革ビジョン

Society 5.0時代の到来及び今般の新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として、AIやロボットなどの高度な技術を活用し、「新しい生活様式」に対応した行政サービスの提供が求められるなど、行政に対する市民ニーズは多様化しています。このような状況の中、限られた経営資源（職員数、財源）で将来に渡り持続可能な市政運営を行っていくためには、これまで積み重ねてきた行財政改革の取組みを礎としつつも、新たな視点を取り入れた改革が必要となります。

そこで、新たな時代に相応しい市役所へ変貌を遂げるための羅針盤となる「行財政集中改革ビジョン」では、次の4つの柱を設定し、本市が目指す3年後の姿を示しています。



*ニューノーマル：New（新しいこと）とNormal（正常、標準、常態）を合わせた造語。With コロナ・After コロナの時代に求められる新しい生活様式。

Ⅶ 行財政集中改革アクションプランの改革項目

行財政集中改革ビジョンの4つの柱で掲げる「本市が目指す3年後の姿」の実現に向けた具体的な実行計画である「行財政集中改革アクションプラン」では、個別具体的な取組項目を掲げ、戦略的に取組みを推進していきます。

第1の柱 スマート自治体への転換による市民サービスの向上

改革1 ニューノーマルを意識した便利なサービス

(取組項目例)

- ・電子申請サービスの拡大
- ・公共施設予約システム導入による申請手続の簡素化
- ・キャッシュレス決済の拡大

改革2 デジタル技術を活用した頼りになるサービス

(取組項目例)

- ・G I G Aスクール構想の推進
- ・A I等の新技術を活用した市民への新サービスの提供
- ・行政情報発信の充実 など

第2の柱 民間活力等の活用や協働の推進

改革3 公共施設への民間活力の活用

(取組項目例)

- ・指定管理者制度活用施設の見直し
- ・公共施設維持管理業務の包括委託の検討 など

改革4 民間や他自治体との協力・連携による行政手法の多様化

(取組項目例)

- ・民間企業・大学等との連携による各種事業の展開
- ・他自治体との広域連携の推進 など

第3の柱 効率的・効果的な行政運営へ市役所風土を変革

改革5 A I等新技術を活用した働き方改革

(取組項目例)

- ・A I及びR P A等の活用
- ・テレワークの実施 など

改革6 時代や状況の変化への弾力的な対応する組織

(取組項目例)

- ・ペーパーレス化 ・スマート自治体への組織体制の構築 など
- ・事務事業のスリム化 など

第4の柱 持続可能な財政運営の実現

改革7 歳入確保と歳出抑制による健全財政の堅持

(取組項目例)

- ・使用料、手数料の見直し ・市税等徴収強化 ・地方公営企業の経営健全化 など

改革8 市有施設等の適正な管理・活用

(取組項目例)

- ・公共施設の有効活用 ・遊休市有地の売却または貸付 など